

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	OnenessA
住 所	名古屋市中川区上高畑 2－8 8
電話番号	052-354-5344

事業所番号	2311302075
管理者名	鈴木改
対象年度	令和7年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		-10
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	○	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
80
点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所 OnenessA

「VII 利用者の知識・能力向上」要件達成に向けた取組報告書

令和 7 年 3 月 31 日

就労継続支援 A 型事業所 OnenessA

管理責任者 鈴木改

1. はじめに

本事業所では、厚生労働省の定める就労継続支援 A 型スコア表において、新設された「VII 利用者の知識・能力向上」の要件を満たすことを大きな目標としております。利用者一人ひとりの特性や希望に応じた研修・学習機会を整え、業務を通じて知識・能力を高めることで、長期的な就労継続につなげることを目的としています。

2. 取組の概要

1. 施設外就労先との連携研修の実施

- 目的
外部企業や関連事業所と協力し、実践的な研修や講習を通じて職業意識・スキルアップを図る。
- 実施内容
 - 企業担当者による講話や指導
 - 実際の就労現場における OJT (On-the-Job Training)
 - 振り返りミーティングによる学習定着・課題抽出
- 期待される効果
 - 実践を伴うスキル習得と社会人としての基本マナー・コミュニケーション力向上
 - 自己肯定感や仕事への意欲の醸成

2. 独自研修の実施

- 目的
就 A スタッフが研修計画を把握し、利用者一人ひとりの状況や希望に合わせて独自のプログラムを組み、より専門的かつきめ細かな支援を行う。
- 実施内容
 - 年間研修計画に基づく座学や勉強会（ビジネスマナー・専門的知識・労働法規など）
 - 事業所内でのグループワークやロールプレイ
 - 資格取得支援（学習計画の支援、模擬試験の実施）
- 期待される効果
 - 利用者の興味・適性に合った学びの機会の創出

- チームワーク醸成とコミュニケーション能力向上
- 専門知識や資格取得による就労の可能性拡大

3. 日常的な姿勢や感覚の共有

○ 目的

毎週の会議や日常業務の場で、利用者と支援員が仕事に対する姿勢を共有し、利用者の学びや成長を日常的にサポートする。

○ 実施内容

- 毎週の全体会議による進捗共有と意見交換
- 個別面談や作業日報を通じたフィードバック
- 事業所全体での目標設定・達成度の確認

○ 期待される効果

- 利用者のモチベーション維持と自主的な課題解決力の育成
- 日々の小さな成長を評価し、自信につなげる
- 職員間での共有により、支援体制の継続的な強化

3. 実施スケジュール

実施スケジュールに関しては **Oneness 委員会研修計画書**をご参照ください。

4. 評価および今後の課題

● 評価方法

- 各研修・勉強会後のアンケートやヒアリングによる満足度・理解度の確認
- 毎週のミーティングでの進捗確認・意見交換
- 作業日報や評価シートを用いた利用者の取り組み状況の客観的評価

● 今後の課題

- 個々の利用者のニーズにより即した研修計画のさらなるカスタマイズ
- 施設外就労先との連携強化（スケジュール調整・連携範囲拡大など）
- 「姿勢」「意欲」といった定量化しにくい部分の継続的なフォローアップ手法の確立

5. 結び

本事業所では、新設された「VII 利用者の知識・能力向上」要件を満たすべく、上記の研修や日常の支援活動を通して利用者の知識や能力の向上を図っています。何よりも、利用者が安心して就労しながら着実にスキルアップし、自信を持って社会参加できるように、スタッフ一同が協力し合いながら支援を行っています。今後も研修計画の充実や支援方法の工夫を行い、利用者のさらなる成長に寄与してまいります。

以上

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	OnenessA
住 所	名古屋市中川区上高畑 2 - 8 8
電話番号	052-354-5344

事業所番号	2311302075
管理者名	鈴木改
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 活動場所：株式会社Ansize、株式会社OnenessArt 実施日程：通年 実施した生産活動・施設外就労の概要：デジタルプロトタイピング、3Dデザイン、試作プリンティング、データ入力等 利用者数 等：45名	<活動の様子> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント
<目的> 地域連携活動のねらい 地域産業の活性化 地域企業（株式会社Ansize、株式会社OnenessArt）との協力により、障害者が参加可能な生産活動を通じて地域経済を活性化。新たな労働力の確保により地域企業の競争力を向上させる。 障害者の社会参加の促進 デジタルプロトタイピングや3Dデザインなどの先端技術を活用した活動により、障害者が社会と接点を持ち、自信を高める機会を提供。 地域内での多様性の促進 障害者の活躍の場を広げることで、地域コミュニティ内での多様性を推進し、共生社会の形成を目指す。 地域にとってのメリット 労働力不足の解消 地域企業が抱える労働力不足を補い、生産効率を向上させることで、地域経済の持続可能性を確保。 新しいビジネスモデルの創出 障害者が活用できる分野の仕事を切り出し、施設外就労を活用することで、地域全体で新しい働き方や協業の仕組みを確立。 地域のイメージ向上 障害者支援に積極的に関わる企業や地域の姿勢が、地域全体のイメージ向上につながり、他地域からの評価や関心を高める。 対象者にとってのメリット スキルの習得と成長 デジタルプロトタイピングや3Dデザイン、試作プリンティングといった先端技術に触れる機会を得ることで、実践的なスキルを身につけることが可能。 社会的自立の促進 地域企業での施設外就労を通じて収入を得ることで、経済的な自立を目指すだけでなく、社会との接点を増やし、自信を高める。 働きがいの実感 施設外就労を通じて、地域や企業に貢献している実感を得ることで、自己肯定感を向上させる。 職業選択の幅の拡大 実践的な体験を通じて自分の適性や得意分野を理解し、今後のキャリア形成に役立てる。	
<成果> 実施した結果 地域企業（株式会社OnenessArt）と連携し、利用者がデジタルプロトタイピングや3Dデザイン、試作プリンティング、データ入力といった活動を通じて実践的なスキルを習得しながら、企業の生産活動を支援する成果を上げた。 得られた成果 利用者のスキル向上と自信の獲得が見られ、施設外就労を通じて社会参加が促進された。また、地域企業の生産性向上に貢献し、障害者と企業双方にとってメリットが確認された。 課題点 業務内容における障害者ごとのスキルや適性に合った業務割り振りの最適化が課題として浮上。さらに、現場での継続的なサポート体制の強化が求められる。	

連携先の企業等の意見または評価			
連携した結果に対する意見または評価 「今回の取り組みを通じて、障害を持つ方々の新しい働き方を知ることができました。みなさんの丁寧な仕事ぶりが会社の役に立ち、とても助かりました。一緒に働くことで、会社全体の雰囲気も明るくなったように感じています。」今後の連携強化に向けた課題 「もっとスムーズに仕事を進めるために、個々のスキルに合わせた仕事の割り振りやサポートの方法を考える必要があります。また、会社のスタッフが障害についてもっと学び、みなさんが働きやすい環境を作ること大切だと思います。」			
連携先企業名	株式会社OnenessArt	担当者名	川上 裕幹